

教育実践学論集（兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科創立20周年記念特別号）

投 稿 要 領

（一般事項）

1 本書は、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科創立20周年を記念し、連合学校教育学研究科の理念等の検証を行い、今後の研究科発展に資することを目的に発行するものである。

また、本書には研究科学生・修了生の研究を掲載し「教育実践学」を広報することとする。

2 本書の原稿を執筆する際は、「研究の特徴、教育実践や現在の教育課題との関係性」や、「教育実践学と教育学・教科教育学、専門諸科学との相違」を意識しつつ、修士、博士課程学生を読者に想定した、具体的かつ明確でわかりやすい文章に留意願います。

3 倫理的配慮

(1) 個人情報取り扱いについて、個人情報の保護に関する法令等に従うこと。

(2) 研究内容によっては、所属機関等において倫理審査委員会等の承認を得ていること。

4 投稿できる者は、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学生・修了生とし、共著の場合は筆頭著者であること。（共著者は連合大学院関係者以外でも可）

投稿原稿は、全て掲載することとする。ただし、原稿に明らかな瑕疵等や記念号に相応しくないと判断した場合は、掲載しないものとする。掲載可否の判断は教育実践学論集（創立20周年記念特別号）編集委員会が行う。

5 投稿手続き

(1) 投稿しようとする者は、執筆事項を厳守の上、所定の期日までに次の書類を兵庫教育大学教育支援課連合大学院事務室宛に提出するものとする。

① 投稿申込書（所定の様式）	1部
② 投稿原稿（原本）	1部
③ 投稿原稿形式チェック表（所定の様式）	1部
④ 投稿原稿の記録媒体（USBメモリ、CD-ROM、DVD等）	1個

なお、投稿する件数は、筆頭著者1人につき1編とする。共著の場合で、筆頭著者でなければ、この限りでない。

(2) 提出された原稿は、本要領の諸事項に従ったものであるかどうか点検を行い、本要領の諸事項に従っている原稿のみ受け付ける。

(3) 提出された原稿の原本は、掲載、不掲載を問わず返却しない。

6 査読、校正

査読は行わない。**投稿原稿は著者により細部に至るまで精査すること。**掲載決定した場合の著者による校正は、原則として初校のみとし、誤植の修正に限る。校正の際の書き加え、書き改めは原則として認めない。また、**引用は必ず明記すること。**

なお、図を修正しなければならないときは、原図を著者の責任において修正し、校正刷りに赤で指示するとともに原図データ（紙）を提出するものとする。

7 著作権等

(1) 原稿の内容は著者が責任を負うものとする。

(2) 著作権は著者に属するものとするが、編集委員会は著者から個別に同意または許諾を得ることなく、その領布のために複製、媒体変換及び公衆送信することができるものとする。

また、編集委員会の判断により各種の文献データベースに原稿の全文または一部が登載されることがある。

8 掲載された原稿は、下記の研究科論文集ホームページ、及び兵庫教育大学学術情報リポジトリ(HEART)において公開する。

●研究科論文集ホームページのURL

<http://www.office.hyogo-u.ac.jp/jgs/journals/>

●兵庫教育大学学術情報リポジトリ(HEART)のURL

<http://repository.hyogo-u.ac.jp/dspace/index.jsp>

(執筆事項)

9 執筆テーマは、次のとおりとします。

- ・自身の研究紹介（共同研究を含む）
- ・教育実践学の研究の状況及びその発展
- ・教育実践学に関わる研究動向やトピック

10 投稿原稿は、和文によるものとし、特別の事情がない限りパソコンまたはワープロを用いて作成し、鮮明にプリントまたはコピーされたレイアウト原稿とする。

また、レイアウト原稿の作成に当たっては、レイアウト例を必ず参照すること。

11 原稿枚数及び体裁は次によるものとする。

- ・用紙は、A4判縦置き、横書きとする。
- ・原稿枚数（図版、注、文献等含む）は、本項に定める1ページ当たり文字数・段組・書体ポイント数に従った上で10ページ以内とし、ページ下中央部にページ番号を印字する。
- ・本文、注、文献のページは22字×38行の2段組とし、上下左右の余白はそれぞれ25mm, 20mm, 18mm, 18mmとし、段間は8mm程度とする。
- ・書体は、明朝体10.5ポを標準とする。
- ・原稿第1ページに表題、著者名を書き、次行から本文、注及び文献の順で書く。
- ・表題中に（1）（その1）等の続報を想定する旨の表記は行わない。
- ・原稿第1ページの最下段に、著者の所属を書く。この場合、修了生等で大学教員は大学名、大学の非常勤講師は主な勤務大学名、学校教諭等は学校名等を書く。

【記載例】

研究科学生の場合 → 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学生

修了生の場合 → ○○大学（20○○年修了）

上記以外の場合 → ○○大学

- ・本文は、書き出し及び改行後の書き出し部分を1こま空け、句点は「。」とし、読点は「，」とする。
- ・2桁以上の数字は半角文字、アルファベットは半角を基本とするが、略号等は全角も可とする。
- ・カタカナは全角とする。
- ・イタリック、太字体（ゴシック、ボールド）は原稿で指定する。

- 図版の挿入は、切り貼りまたはソフトでペーストする。
- 注記は、補足説明とし、本文中の該当箇所に、注1，注2…の肩番号をつけ、原稿末尾に番号順に記載する。
- 文献は、本文中で引用・参照されている文献のみとし、本文中の引用・参照箇所に、(1)，(2)…の肩番号をつけ、下記の様式により、原稿末尾に番号順に記載する。
なお、欧文(ローマ字)誌・書名は、イタリックとする。
また、著者が複数の場合は、その全員を記載する。その際、著者名と著者名の間は、カンマ[，]でつなぐ。

12 図，表，写真図版等は、本文中の該当箇所の刷り上がりをイメージした位置に、鮮明に識別できる大ききで、以下の様式により挿入する。

- 図(写真図版を含む)は、図1(Fig.1)，図2(Fig.2)，…のように、表は、表1(Table1)，表2(Table2)，…のように通し番号をつける。
- 図の番号及び見出しは、図の下に記入し、表の番号及び見出しは、表の上に記入する。
- 図，表，写真図版等の出典は、オリジナルの場合を除き、原稿末尾に通し番号順にまとめ、文献の記載例を参考に明記する。
- 図，表，写真図版の印刷は白黒とす。また、大ききは、刷り上がり1ページ(縦23.5cm×横16.5cm)以下を原則とする。
- 図，表中の文字の大ききは、レイアウト原稿中で最小9ポイントとする。